

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

下総国葛飾郡行徳領儀兵衛
新田塩浜御普請出来形帳

寛政十二年申閏四月
(一八〇〇)

東大・経済
52
387
1

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

寛政十二年

平統園高錦行徳領儀信新田治彦漢書朱船帳

司

平文士奉託在帳上上善多之元

經濟學部
研究室
52
307

經濟學部
研究室

經濟學部
研究室

一 地立新程附書の拾遺

世古の抄録

月新集

一 同書の抄録

世古の抄録



經濟學部
研究室

經濟學部
研究室

經濟學部
研究室

海王女伝所由
出づる言川村

一 地上金塔寺御首

此寺御首

此寺御首人 寺名

口折段

一口家新長官御間

口家新長官御間

口家新長官御間

此寺御首 寺名 口家新長官

此寺御首

口家新長官御間

此寺御首 寺名 口家新長官

此寺御首

此寺御首 寺名 口家新長官

此寺御首 寺名

此寺御首 寺名 口家新長官

此寺御首 寺名

大入用

此寺御首 寺名 口家新長官

此寺御首 寺名

此寺御首 寺名 口家新長官

善治所 公和年

同本所

善治所 公和年

善治所 公和年

同本所

善治所 公和年

人皇御之入甲下

善治所 公和年

善治所 公和年

善治所 公和年

善治所 公和年

日

善治所 公和年

同本所

善治所 公和年

善治所 公和年

善治所 公和年

同本所

善治所 公和年

善治所 公和年

大分

松本守屋

古山人 弟三守

此書場... 松本守屋... 古山人... 弟三守... 和州... 内折唐文...

松本相公

古山人 弟三守

此書場... 松本相公... 古山人... 弟三守... 和州... 内折唐文...

松本相公

古山人 弟三守

此書場... 松本相公... 古山人... 弟三守... 和州... 内折唐文...

山本守屋

此書場... 山本守屋... 古山人... 弟三守... 和州... 内折唐文...

松本相公

古山人 弟三守

此書場... 松本相公... 古山人... 弟三守... 和州... 内折唐文...

松本相公

此書場... 松本相公... 古山人... 弟三守... 和州... 内折唐文...

海之海海海

一、進行書面

書作一字存一各

但掃定人 善示

大月

葉屋行北五九取取小本

目録

其字之字之字之字之字之字之

人

其字之字之字之字之字之字之

書

松本宮和堂

書人 本日

茂水宮和堂

但

松本十八

書人

茂水宮和堂

但

葉屋行北五九取取小本

其字之字之字之字之字之字之

但

山甚之乃之集

世成水出之字之文

世成水出之字之文

松之原字之集五下

世成水出之字之文

世成水出之字之文

人成之乃之集五下

世成水出之字之文

世成水出之字之文

世成水出之字之文

六

世成水出之字之文

世成水出之字之文

世成水出之字之文

介

世成水出之字之文

世成水出之字之文

右者苗村德源因堤沙善信年終
高沙會米令部金法海善信
俾舟書通之通支之皆其江冠
有徒在古者則別男出來形極
至善善善以收西所與古者
...

竟之改定

四月

下條山行信

...

忠

漢書卷四十四

所

前書之通本後行

後書之通本

定海二年正月

没所



